

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 5 回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成 23 年 6 月 28 日 (火) 13 時 30 分 ～15 時 00 分
開 催 場 所	保健相談センター会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口座長、奥住副座長、岩田委員、白土委員、大野委員、波多野委員、西田委員、佐藤委員、高山委員、岡本委員、岡田委員 欠席者：田島委員、渡辺委員 事務局：健康福祉部長、健康推進課長、健康推進課主査、健康推進課員
議 題	(1)健康増進計画の素案（第 1 章・第 2 章の修正）について (2)武蔵村山市における健康づくりの重点課題について (3)その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1)協議結果を踏まえ次回資料を作成する。
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (◇=座長、○=委員、●=事務局)	<p>※事務局から、会議を開催する前に資料の確認及び「資料 1 懇談会会議録 (要旨)」の説明、「資料 2 武蔵村山市健康増進計画の素案 (第 1 章・第 2 章の修正)」を説明する。</p> <p>(1) 武蔵村山市健康増進計画の素案 (第 1 章、第 2 章) について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 「資料 2 武蔵村山市健康増進計画の素案 (第 1 章・第 2 章)」についてはいかがか。事務局より計画のキャッチフレーズを 4 案出し、健康イベント等でアンケートを市民にお願いし、投票の結果を掲載しているが、いかがか。最も多かった「わたしの笑顔 家族の健康 みんなでつくる元気なまち」の最後に「武蔵村山」を付けるのはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ○ “まち”を“武蔵村山”と読み替えた方が良い。 ○ “まち”は不要ではないか。 ○ “まち”という表現は温かさを感じる。 ○ “まち”の後に“武蔵村山”を加える。 ◇ では、懇談会の意見としては、「わたしの笑顔 家族の健康 みんなでつくる元気なまち 武蔵村山」とし、策定委員会へ報告する。他にあるか。 <ul style="list-style-type: none"> ○ p5 の説明文でハイリスクアプローチは“対処”、ポピュレーションアプローチは“考え方”と記載され、違和感がある。 ◇ 両方とも“対処していく考え方”と修正する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ “家族のライフステージ”という表現はおかしいのではないか。 ◇ “家族に着目した健康づくり”という表現で伝わる。また p7 の施策の体系における“推進の視点”では“健康づくり”が重複し出ており削除しても良いのでは。 <ul style="list-style-type: none"> ● 了解した。 <p>※事務局から、「資料 2 武蔵村山市健康づくりにおける重点課題」を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 「資料 2 武蔵村山市健康づくりにおける重点課題」についてはいかがか。健康課題に関するアンケート及びその該当分野のチェック、現在実施している事業を整理したものである。 <ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの%には、単独回答、複数回答が分かるようにしてほしい。 ● 了解した。

- ◇ 課題毎に重複するアンケートは分かるように表記してほしい。働き盛り世代の「成人健診の受診率が低い」の特定健診受診率 65%という目標値は何か。
- 既に市として「特定健診実施計画」において 65%と設定済みである。
- ◇ アンケートの関連上、他のアンケート結果の前に健診率結果のアンケートを記載されたし。
- 了解した。
- ◇ 「健康教室の参加者が少ない」に掲載される4つ目以降のアンケートは新しいものであるが、“喫煙”に関するアンケート結果を掲載すべきではないか。
- ヘルシースリム教室でたばこについて少し触れることはある。
- 具体的にたばこの指導などは実施していない。
- ◇ では今後の取り組みにおいてフォローすることを考える。
- ◇ 「がん検診の受診率が低い」でたばことストレスのアンケート結果が掲載されているが、この目標値 50%は何か。
- 国・都が設定している目標値を記載した。
- ◇ 高齢者世代の「一人暮らし等で食事を簡単に済ませてしまう事が多い」については、該当アンケートが出ている。また、交通問題等の環境課題は該当するアンケートを実施していない。世代別の課題を一通り見てきたが、他に意見はあるか。
- がん検診について2年連続の受診者が5割程度と多く、新規の受診者を増やす施策が必要と考える。
- 50歳等の節目検診とし全ての希望者が受診できるようにしてはいいか。
- 抽選ではあるが、希望者はほぼ落ちていない現状でもある。
- できるだけ多くの方が受診できるようにする必要がある。
- 現状では市報に掲載され、往復はがきを購入し応募しており、手続きとして煩雑な感がある。
- 予算措置として事業費のMAXは決まっている。
- ◇ 事業費が決まっていて、かつ、新規の受診者を増やすということか。
- 毎年、受診者数が増える傾向が続く場合は、予算づけを行う。なお、がん検診でも一部、電子申請ができるように工夫している。
- お伊勢の森の所在がわかりにくい。検診のお知らせは団地等でチラシを貼るなどのPRが望まれる。40歳代で5%の受診率はまずい。この年代の人をターゲットにして、受診を促進する工夫が必要である。
- どこにチラシを貼ろうが忙しい人は見ない。やはり、推進の視点に掲げるように、乳幼児健診等でママにビラを渡し、家族や両親を検診に誘う形が効果的と考える。
- ◇ 胃がんや大腸がん検診は30歳代からなので、母子健診のママの夫が対象となる。また、3セット検診は医療機関での検診ではないのか。
- 医療機関受診ではなく、多摩がんセンターで検診車による実施です。
- 西東京市では医療機関受診としているが。
- 近隣の東大和市も検診車及び多摩がんセンターで実施する形で、本市と同様である。他に2セット検診では電話による受け付けを実施している。
- ◇ 実施体制が複雑な感がある。また、往復はがきは少なくなった郵便ポストを探さなければならない。

- コンビニでも往復はがきは売っていない。
- 抽選に外れた時は、次の機会を覚えてくれたが、なかなか申請書の書き方が難しいなどもある。
- 電子申請による受け付けは今年から始めたばかりで、次第に普及することを期待している。
- 抽選に当たっても希望日ではないこともある。
- 全般に受けたい人全員が受けることができない実態にある。
- 産婦人科に関する乳がん、子宮がんの検診は多摩がんセンターで実施となり、朝6時起きで大変。
- 3セット検診と子宮がん・乳がん検診は1年2回実施し、前期で抽選から外れた場合は、後期で優先的に扱っている。
- 目標値の受診率50%は国保のみではなく全対象者ベース。予算的にキャパシティが足りないと50%は困難となる。
- 40代、50代は会社でがん検診を実施しているのではないか。
- 最近、会社においても特定健康診査を優先し、全ての会社でがん検診を実施しているわけではない実態がある。
- ◇ 市での受診だけではなく、他の機関でがん検診を実施している所もあるので、実施機関をお知らせする必要がある。ところで、市の検診は無料なのだろうか。
- 市の検診は無料で行っている。
- ある程度の自己負担とし、受診者数を増大させるべきではないだろうか。
- ◇ 限りある財源の中で受診率の拡大を考えるなら、自己負担という考え方も検討すべきとの意見が出た。
- ◇ ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチについては、何か意見はあるか。
- ポピュレーションアプローチの第3位「センターと分室で事業を行っているので分かりにくい」の現状で“保健センターとお伊勢の森分室は、近い場所にあり、地区の役割を担っている訳ではない”とは何を意味するのか。
- 同じような地区に立地しており、例えば南部拠点・北部拠点といった役割ではないということを行っているのでは。
- ◇ 分かりやすい表現に訂正されたい。
- ◇ 今回の資料では、アンケート結果と課題は概ね合致しており、また、運動、食事などの各分野にも該当しているため、分野別課題を改めて考える必要はないものとする。次回は目標値及び今後の取り組みのアイデアを頂きたい。活発な議論のため、各委員の宿題という形をお願いしたい。
- ◇ 環境課題としては、「お伊勢の森分室への交通の便が悪い」「センターと分室で事業を行っているので分かりにくい」が挙げられているが、この評価は難しい。他にポピュレーションアプローチの第1位に「健康に関する自主グループが少ない」とあるが、いかがか。
- 体育推進員が学校体育館を借り、日曜日に実施している。
- 体育推進員は正副4名を自治会で推薦する形となっている。
- ◇ 市民にとっては、どの課において事業を実施しているかはあまり関係のない話であり、他の課の事業を掲載する、しないかは策定委員会の判断となるか。
- 他の課の事業でも載せれば、市民には分かりやすいと考える。
- ◇ では、事業課名が分かるように掲載されたい。
- 来院する患者の方で、ヨガや健康教室等に通う方もおり、良いこと

	<p>だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 老人会、サークルなどでは自彊術の教室開催に取り組んでいる所もある。 ● 健康推進課として、様々な取り組みを把握できていない部分もある。 ◇ 自主グループ活動については、市報に掲載されている催しものを載せるのはどうか。 ○ 健康教室 4 日間コースで、自主グループの発足を期待するのは無理がある。 ◇ 健康推進課の事業において自主グループを育成することは大切なことではあるが、他の課で行っている事業も掲載する方向で考える。また、事業として確立していない“取り組み”程度でも掲載してはいかがか。 ◇ それでは、次回の活発な議論をお願いし、議題の協議を終了する。 <p>(3) その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ その他はあるか。 ● 次回開催日程について後日調整を取らせて頂く。 ◇ 以上で本日の議事はすべて終了した。これで、第 5 回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会を終了する。 <p style="text-align: right;">-以上-</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 () </p>	<p>傍聴者： _____ 0人</p>
-------------------------	--	----------------------

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____） </p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部健康推進課（内線： _____）</p>
--------------	------------------------------

（日本工業規格 A 列 4 番）